

「可能性信じ果敢に挑戦を」

日高学長 入学式で激励



▲ 日高学長に宣誓書を手渡す新入生代表の田辺美永さん＝4月5日、日本武道館で

2010年度の専修大学入学式が4月5日、東京・千代田区の日本武道館で行われた。満開の桜が春の雨に洗われたこの日、新設の人間科学部生を含め新入生4900人（一部7学部4316人、二部3学部387人、大学院5研究科136人、法科大学院61人）が式に臨んだ。

日高義博学長は式辞のなかで「大学では何を修得したかが大切だ。問題を自ら発見し、それを主体的に解決する力を体得することが決定的に重要だ。専修大学の130年にわたる歴史の重みには、学生が大きく変身するだけの環境が整っている。大きな夢を描き、社会において自分のなすべきことを見定め、人間としての幅を広げてほしい。自己の可能性を信じ、何事にも果敢に挑戦しよう」と語りかけた。2面に式辞要旨。

ご父母の会である育友会の菅沼堅吾会長が同会の活動を紹介し、「一緒に学生たちを応援していきましょう」と会場のご父母に呼びかけた。新入生を代表して田辺美永さん（ネットワーク情報学部・千葉県専大松戸高）が宣誓した。

歓迎セレモニーでは、専修大学フィルハーモニー管弦楽団をバックにボーカリストのやまもときょうこさん（平3商）が「アメージンググレイス」などを熱唱。司会は鈴木梢さん（文3）が務めた。

二一三ース専修

専修大学 ホームページ http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425 東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 入学式・日高学長式辞／学部長・大学院研究科長／法学大学院長からの歓迎メッセージ……………6
- 入学式・オリエンテーションフォト特集……………4
- 2010年度入試結果／高校別合格者数……………2
- 充実した大学生活のスタート！新入生歓迎セミナー……………6
- 創立者の米国での足跡をたどる「創立130年記念海外セミナー」……………4
- 石巻専修大学「社会知性」広める人に入学式・坂田学長式辞……………7
- 北海道短大 教員と共に考え、学ぼう！入学式・寺本学長式辞……………9
- ……………8
- ……………5
- ……………3
- ……………12
- ……………10
- ……………11

米オレゴン大学ラリヴィエ学長、日高学長と懇談



交流20年 さらに連携強化

国際交流協定校の米オレゴン大学からリチャード・ラリヴィエ学長らが3月29日、日高義博理事長・学長を敬訪訪問。両大学のさらなる連携強化を確認し合った。

神田キャンパスを訪れた一行はラリヴィエ学長のほか、マイケル・レディング副学長（対外部門担当）、ステイブン・デュラント副学長（国際交流担当）、スコット・コルトレーン教養学部長、ジャン・ラリヴィエ学長夫人の5人。懇談は終始、和やかな雰囲気で行われた。

日高学長は「専修大学は昨年、創立130年を迎え、さまざまな記念事業を展開してきた」とし、本学の21世紀ビジョンである「社会知性の開発」について説明したうえで、オレゴン大学との交流をさらに進めていきたいと語った。ラリヴィエ学長も「これまで両大学の交流はさまざまな形で実を結んでいる」と語り、本学の国際交流活動や少子化に向けての対策を尋ねた。

この日の通訳は、同課に在籍のジョン・ファッションさん（2007年秋、本学の日本語プログラムであるBCLプログラムを受講）と大林守国際交流センター長が務めた。

懇談する左からデュラント副学長、コルトレーン教養学部長、ラリヴィエ学長夫妻、レディング副学長

テレホンサービス
(お知らせ・緊急連絡)
0180-994-994

本紙へのご意見をお聞かせください

koho@acc.senshu-u.ac.jp

交流24年、さらにパイプを太く

韓国・檀国大副総長が表敬訪問



▲ 前列左から宋貴英教授、崔鐘振副総長、日高学長、金英廈院長

4月7日、国際交流協働産・建設大学院長が、定校である韓国の檀国大 神田キャンパスの日高義博学長から崔鐘振副総長（対 博理事長・学長を表敬訪問）と、金英廈不問した。檀国大学は、本学のアジアの協定校の中で最も古く、1986年から国際交流協定が始まった。

日高学長らに歓迎された崔副総長は「檀国大学は専修大学と長い、密接なお付き合いがあり、訪問してその関係を実感した」と語り、海外における日本との関係を強調した。

日高学長は両大学間の連携のパイプを「さらに太くしていきたい」と呼び掛け、檀国大学の東洋学研究所が韓国初の本格的漢学辞典として完成させ、昨年本学に寄贈した『漢韓大辞典』全16巻についての労をたたえた。

通訳は、専修大学の外国人客員研究員でコリア語教育にも携わっている宋貴英檀国大学日語日文学科教授が務めた。

書物の美 見て触れて

西洋の中世写本や活版印刷物を展示

生田・図書館



専修大学図書館のコレクションの中から西洋中世の美しい写本（手書きの本）やインキユナブラ（初期の活版印刷物）などを展示する企画展「書物の美にふれる」が、4月1日から専修大学図書館（本館）で始まった。多くの学生や市民が訪れている。展示は、世界で十数点しか存在しない彩色写本の『ポリクロニコン』（1420年ごろ）や絢爛豪華な『時祷書』（1450年ごろ）、世界三大美人の『作品集』（ケルムスコット・プレス版、1896年）など22点。原本を忠実に再現した複製版（ファクシミリ）も展示し、手書きの文字や挿絵、装飾、装丁の美しさを実際に手に触れて楽しむことができる。

「二一三ース専修」とは……

キャンパスライフに役立つ情報や学生の寄稿、体育会の活躍・試合予定などを掲載して毎月15日に発行しています。生田キャンパスでは120年記念館（9号館）、130年記念館（10号館）をはじめ、学生生活課前、学生食堂などに、神田キャンパスでは1号館地下1階、7号館1階などにありますので、ご自由にお持ちください。（育友会員の皆様には、育友会から送付いたします）